

LCIF委員会報告

LCIF国際委員地区コーディネーター
地区LCIF委員長 有野 勇(三木中央LC)
2017～2018のLCIF献金目標です。

1968年LCIF設立今年50周年を迎えるに際しLCIF献金目標額は世界で5,000万\$、日本は1,000万\$、335ID地区は献金目標額170,800\$です。

7月1日のメンバー数(子会員は除く)×100\$
LCIF寄付未参加は14クラブ(1月末現在)
LCIF指定献金分野としては次のとおりです。

1 最もニーズの高い分野 2 災害 3 視力
4 青少年 5 人道 6 麻疹
1ドで「はしか」を予防し、1人の子供の命を救う事ができます。

「はしか」によって毎日450人の子供が命を落としています。

「はしか」にかかった子供の約30%が視力や聴力の喪失や脳障害などの合併症を発症します。

*1回の予防接種が救うひとつの命

*1ドワクチン1回分2回分2回分救われるひとつの命

*1ド以下で1人の子供に生涯「はしか」に対する免疫ができます

この予防接種は最も費用対効果が高い保健対策の一つとなっています。

「ライオンズ奉仕分野」

糖尿病 環境 飢餓対策 小児がん 視力

★交付金について

*LCIFが国際協会から独立したことに伴いLCIF国際理事會実施月が1月・5月・8月の年3回に変更又、一般援助交付金申請書の提出期限が以前は理事會會議開催の60日前に提出でしたが、90日前に提出に変更になりました。

*2017～18年度の一般援助交付金申請期限

・2018年5月1日(2018年8月會議のための申請締切日)
・2018年11月1日(2019年1月會議のための申請締切日)
・2019年2月1日(2019年5月會議のための申請締切日)

★申請書の書き方、交付金に關しての問い合わせはキャビネットまたはLCIF委員会までご相談下さい。

1R3Z
福崎サルビアライオンズクラブ
100\$献金



今期、福崎サルビアライオンズクラブでは100\$献金に向けて、例会毎に500円ずつ貯金箱に入れて来ました。この2月例会で貯金が貯まり、100\$献金をさせて頂きました。



クリスマス奉仕

2017年のクリスマス奉仕として、福崎サルビアライオンズクラブで福崎町・香寺町の幼稚園・こども園・保育園にサンタクロースの訪問をさせて頂きました。

サンタ訪問は、子ども達が夢と希望を持って成長してくれることを願って、福崎サルビアとして再開させて頂きました。しかし、女性クラブのためサンタクロースには、ガバナーやキャビネットの皆様・ブラザークラブの皆様にご協力を頂きました。

した。

12月7日に日ノ本幼稚園、12月19日には福崎町内6園、香寺町内2園に6名のサンタクロースが訪問して、園児一人ひとりにプレゼントを渡したり、子どもからの質問に答えたりと、楽しいクリスマス会となりました。

慣れないサンタさんに泣き出す場面もありましたが、子ども達の素朴な質問へのそれぞれのサンタの名(迷?)回答には子どもだけでなく参加したメンバーも大好評でした。このクリスマスプレゼントを準備するために、11月3日の福崎産業祭にてバザーを開催したり、



プレゼントの選定に東奔西走したりもしましたが、子ども達にとっても嬉しそうなキラキラした瞳に来年以降も是非!という気持ちでいっぱいになりました。

3R1Z

加西北条ライオンズクラブ
クリスマスプレゼント訪問



12月15日・22日の二日間で、加西市内のこども園・養護施設等12ヶ所を訪問し、1087名にプレゼントのお菓子を手渡ししました。サンタクロースは手品やびっくりパーパークラフトを披露したり、子どもたちと踊ったり歌ったり



：楽しい時間を過ごしました。おかげさまで、今年もたくさんのお子様も私たちの笑顔を見ることができました。



あびき湿原 環境保全事業



1月28日(日) 100周年記念奉仕事業(レガシープロジェクト)として、あびき湿原にベンチを寄贈設置。手つかずで埋もれていた湿地帯が、近年の保全作業により希少生物・植物が生息しやすい環境に整備されました。2016年3月に看板や休憩用ベンチを寄贈しましたが、多い月には1700名以上の見学者もあり、今回更に4脚を追加。見ごろとなる初夏から秋にかけて、たくさんの方々に身近に自然を感じて頂けると思っています。



3 RIZ

三木中央ライオンズクラブ 三木市民駅伝競走大会

三木防災公園内で行われた第13回三木市民駅伝競走大会に後援名義を貸し出し、会長が開会あいさつを行い、また昨年度優勝の4部門4チームに対してレプリカを作製しそれぞれ授与した。またLC100周年記念事業として、ぜんざいの無料提供を行った。参加選手、観覧応援者の方々に約600名を対象にぜんざい・熱いお茶のサービス500食を行いました。寒い中で喜んでいただきました。



4 RIZ

出石ライオンズクラブ 出石特別支援学校 交流行事 「もちつき大会」協力



兵庫県立出石支援学校プレースペースにて、クラブ会員5名の協力で小学部・中学部 2白、高等部 4白、計6白のおもちを仕上げました。地元元宮内区と出石ライオンズクラブが、生徒の皆さんと一緒に餅つきをしました。元氣よくついたお餅を、ぜんざいで美味しくいただきました。寸志として10000円のアクティビティ協力を行いました。

4 RIZ

豊岡亀城ライオンズクラブ 地元ラジオ番組出演



会長L中村、MC委員長L西村の二名が地元ラジオ番組に出演しました。ライオンズクラブの活動、主に献血奉仕活動についてお話しさせていただきました。

豊岡FCカップ メダル授与式





豊岡FCカップ（サッカー大会）優秀選手のメダル授与式に第二副会長L宇都宮が出席しメダルを授与しました。選ばれた選手たちの顔はみな誇らしげに輝いていました。

とよおか作業所

ふれあい餅つき交流会

2月3日節分の日、とよおか作業所 愛・とーぷにて利用者の方々と餅つき交流会をおこないました。



100名からなる大餅つき大会でした。ノロウイルスの関係でつき立てを頂くことができません

したが、各々持ち帰りおいしくいただきました。午後、趣向をかえゲーム大会、缶の積み上げリレー。シンプルなゲームですが大いに盛り上がり大盛況のうちに交流会を終了しました。

5R2Z

赤穂ライオンズクラブ

義士祭献血



平成29年12月14日（木）赤穂義士祭献血アクティビティを開催しました。今年度は、献血者74名で確保量29600mlになりました。

老人ホーム・精華園慰問



平成29年12月21日・22日（木・金）市内の老人ホーム6箇所と赤穂精華園へクリスマス慰問に行きました。老人ホームには、甘酒を、赤穂精華園の子供たちにはお菓子を。サンタの格好をしたメンバーがプレゼントを手渡しました。皆さんに喜んで頂けました。



国際平和ポスター
9月市内10小学校から58点の応募があり、そのうち9点をキャビネットに提出をしました。12月20日～1月11日まで、赤穂駅前商業施設（プラット赤穂）に展示しました。



1R2Z

姫路西ライオンズクラブ

献血登録・アイバンク

活動支援募金



2017年12月23日（土）、当クラブ結成40周年記念事業として、太子あすかホールで開催された『姫路ウインドアンサンブルクリスマスコンサート』の協賛を致しました。当日は受付などにも協力。尚、会場にて献血登録・アイバンク活動支援募金を呼びかけ、募金全額を兵庫アイバンクへ寄付させて頂きました。



5R1Z
たつの赤とんぼ
ライオンズクラブ
第33回三木露風賞



平成29年10月22日(日)
第33回三木露風賞新しい童謡コンクール入賞詩発表会にて入賞者へ

防災かまどベンチ寄贈

LC100周年記念事業として、姉妹クラブ「洲本おのころLC」との共同事業にて、それぞれの市に「防災かまどベンチ」を2基づつ寄贈した。29年10月25日にたつの市で除幕式を、また11月27日には洲本市において贈呈式を挙行して頂き、両市より感謝状を頂戴した。



「たつのふれあいフェスタ」で姉妹クラブ「洲本おのころLC」と合同アクティビティをしました

「姫路城マラソン2018」地区1RMC・IT委員 木谷裕之



姫路城マラソン2018ゴール地点の姫路城が近くになると、熱いものが込み上げてきます。冬の寒空の下、今年も姫路の街を号砲とともに、約7000人のランナーがフルマラソンに挑戦しました。大会当日は、時間の経過とともに風が強くなり、想像以上に体感温度が低く、低体温症で運ばれる人も出るほどでした。

た。その寒い中、17^キ過ぎから豚汁や竹炭うどんやミニタロワッサンなどのエイドが続きます。堪能させていただきました。



38^キ地点の給水所では姫路さくらライオンズクラブの方々からの温かい声援やハイタッチを受けて、姫路城三の丸広場のゴールへ3時間10分で飛び込みました。各箇所のボランティアの

人達には、大変お世話になりました。有難うございました。楽しくフルマラソンを走らせていただきました。

姫路城マラソンの1週間前には、姫路城マラソン発起大会の「第8回姫路城駅伝大会」を開催させていただきました。この大会には、121チームがエントリー。姫路スターライオンズクラブも3チーム参加していただき、大会を盛り上げていただきました。有難うございました。

1R2Z
姫路スターライオンズクラブ
2018 姫路城駅伝大会
でつなげ!
仲間のタスキ!
"Let's do it!"
姫路スターライオンズ

2018年2月4日寒空の早朝より姫路城のお堀周り1周およそ2kmをエントリーチーム121組の1チーム6人が、1周ずつ計6周のレースがおこなわれました。スターライオンズとしては5回目のエントリーですが、今年も男女混合の



3チームでタスキをつなぐ宣言をし、見事チーム全員でタスキをつなぎました。

この日まで走るなど眼中になかったメンバーも大半でしたが、一人が欠けてもチームが完走できないという責任感のもと、毎週、例会後に着替え、キャプテンの指示下、練習に励みました。結果、メンバー同士の交流も深まり、打ち上げも大変盛り上がりました。この大会では最初の選手宣誓からラストのゴールテープを切るまでもスターライオンズがはじめと終わりを飾らせていただきました。社会奉仕の下、ライオンズクラブは活動を致しま

すが、その中にもメンバーが楽しく有意義に活動できればまた良かったライオンズのかたちが見えてきたような気がいたしました。

